

和庄小だより

令和6年4月10日
和庄小学校通信 No.1
校長 佐々木 智明

今年度もよろしくお願いたします

新年度を迎え、子供たちは新しい学年になり、新年度スタートの学校の空気感を感じながら、新しい学びも楽しみに教室へと上がっていく様子を見ることができました。

子供たちのこのスタートの気持ちを大切に、教職員全員で全校児童の一人一人の学力、生活力等を高めることができるよう取り組んでいきます。

今年度におきましても、本校の教育活動へのご理解・ご協力等をよろしくお願申し上げます。

4月8日 出発の式

最初に1名の転入生を迎えました。

そして、今年度の「出発の式」。

「出発の式」では、次のことを話しました。

【就任者代表のあいさつ】

① 春休みに和庄小前で出会った小学生が、“知らない人”である私に、さっと挨拶をしてくれたこと。とてもいい感じがしました。

② 4月5日（金）に、始業や入学式の準備に来た“新6年生”が隅々まで丁寧に掃除をしてくれたこと。また、初めての掃除場所で掃除の仕方がわからない子に、掃除の仕方を伝えると、その方法できれいにな場所に変えてくれたこと。すばらしい“新6年生”の姿でした。



【学校長あいさつ】

③ 「やさしさ」は「優」しさ

和庄小の子供たちに話をするために、子供たち全体の前に出て、全体を見る中で、子供たちに礼をしました。子供たちみんなが、私に礼をしてくれました。



このことは、みんなが相手を大切にできた姿であり、それは、相手への「やさしさ」の一つの表れであると考えます。

「やさしさ」は、「優しさ」と書き、「優（れている）」という漢字を使います。

そして、「私はみんなが礼をしてくれて、とてもうれしかったです。」と伝えました。

「やさしさ」が相手のことやまわりのことをよく考えた言葉や態度、気持ちの表れだとすると、みんなの行いは、優れた行いだったと思えました。

出発式では、転入してきた教職員も挨拶をし、その後、教職員の各担任・担当等を発表しました。

和庄小学校の子供たちに、教職員がそれぞれの役割をもちながら協力して取り組みを進めていきたいと考えています。

よろしくお願いいたします。



入学式

午後からは、入学式。

新1年生の入場。緊張した面持ちでの入場でしたが、式全体を通して、“年長さん”だった、しっかりとした姿を表すことができていました！

私からは、「私と小鳥と鈴と」という金子みすゞさんの詩を、小鳥の動作や、鈴の音を入れながら紹介しました。そして、一人一人のよさを生かし合いながら、みんなと一生懸命お勉強をしたり、楽しく遊んだりできるといいですねと伝えました。



学校の外でのこと

入学式を終え、子供たちみんなが学校を出た後、学校外へ。そして、その帰り道。歩いて戻っていると、別々に二人の和庄小学校の子供と出会いました。

二人とも、私に自分から進んで挨拶をしてくれました。

とてもあたたかい気持ちになりながら、学校に戻ることができました。

ありがとう。

こんにちは！

